

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月16日

事業所名：COCOSKIP

区分		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	0	0	完全個別の療育のためスペースの確保はできる。	集団指導の際のスペースの確保を行います。
	2	職員配置数は適切であるか	10	0	0	常勤・非常勤合わせて6人以上のシフト体制を維持できるようにしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	5	0		歩行困難な利用者やトイレ介助の必要な場合もできる限り職員が個別で対応できるような職員体制を整えフォローしていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	0	0		
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	0		現在、手書きによる評価表を提出してもらっておりますが今後は匿名によりデータで記入してもらえるように工夫したいと考えています。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3	2	乙訓圏域での取り組みとして利用者さんには必ず相談支援員がついてくれており適時相談と助言をもらえる環境になっている。	今後、必要であれば第三者委員会への外部評価の依頼を行う。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0	各委員会活動での研修会や他事業所との連携を行っています。	今後さらに研修や勉強会の回数を増やしていきます。	
適切な 支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	2	0	面談時に使用するアセスメントシートがあります。	職員が誰でも使用する際に困らないようなツールを作成します。

適切な支援の提供	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	2	0		個別の運動療育という断定的な支援を行ってはいますが出来るかぎり地域や他事業所と連携を取り支援内容の策定を行います。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	0		
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1	0		職員の出勤状況や非常勤の職員にもより支援計画の立案に参画してもらえ工夫を行います。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	0	定期的に遊具の購入の検討を行っています。週に1回職員間で運動療育のシミュレーションを行っています。	
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0		
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	2	0	朝礼での事前情報共有を行っています。前回の支援内容を確認し支援に入る仕組みを作っています。	通所される全員の事前の打ち合わせを前日や等質に行うことが出来ないため療育担当者に引き継ぐ工夫を検討していきます。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	3	0	毎週1時間利用者の振り返りの時間を確保しています。	更に満足度を高めるために振り返りの時間の確保を出来るように努めます。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	記録を取る専用の職員配置を整えています。	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	0		
関係機関や保護者との	20	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	10	0	0		
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	9	1	0		乙訓圏域の利用者に関しては連携が取れているがそれ以外の地域の利用者さんに関して役所や園・学校との連携がとりにくいので今後検討していく。
	22	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0	6	4		現在医療的ケアが必要な児童の利用がない。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0	6	4		現在医療的ケアが必要な児童の利用がない。
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	4	0		相談支援員が中心となって教育機関や園との連携を行っています。
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	5	0		相談支援員が中心となって教育機関や園との連携を行っています。

連携	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	6	0		利用者が専門機関に通院・通所している場合は積極的に連携を取っています。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	5	5		利用者の保護者の要望なども含めて今後検討していきます。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	5	4		自立支援協議会との連携による研修や勉強会の実施を行っている事を職員に周知していきます。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0		毎回通所時に15分程度の面談の時間を確保しています。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	7	0		まずは職員間でのペアトレの研修と勉強会から実施していきます。
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1	0		
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9	1	0		職員間でのガイドラインの理解を行えるように研修や勉強会を検討します。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0		
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	5		コロナの状況もあり現在行っていないが今後開催を検討していく。
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0		通所時に毎回保護者との面談の時間を設けることで苦情や要望の察知がしやすいようにしています。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0	6	4		イベントや行事などの活動を設定していない。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	0	0		SNSの発信などに利用者の協力は得ていない。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1	0		
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	5	1		現在検討していません。
非常時などの	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	0	0		感染症災害対策委員会を中心に研修や勉強会を行っています。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0		感染症災害対策委員会を中心に研修や勉強会を行っています。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	1	0		契約時に状況の聞き取りを行っています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		9	1		飲食の提供を行っていません。利用者へのアレルギー等の聞き取りは行っています。

の 対 応	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	4	0		過去のヒヤリハットのケースを保管はしていますが定期的に共有などが出来ていないため今後検討していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1	0	虐待防止委員会を中心に研修や勉強会を行っています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5	5	0	身体拘束委員会を中心に研修と勉強会を行っています。	現在支援計画に記載している児童はいません。